

わいわい市民センター実施における好事例・効果

1 実施館での好事例・工夫点について

西門司市民センター（門司区）

対象：小学生

開始時期：7月

実施内容：会議室を遊び場として開放（毎週水曜日 16時～17時）

工夫点：西門司小学校校長によるボランティアとの勉強会を実施
「わいわい市民センター」の名称、ルールを子どもたち自身で決める
⇒令和6年6月22日(土)第1回子ども講座で実施

祝町市民センター（八幡東区）

対象：小学生～高校生

開始時期：5月

実施内容：市民ホール・会議室を自習室として開放
（平日9時～21時 土曜日9時～16時）

工夫点：事務所から近い会議室の開放、遊び場ではなく、学習室として開放
（見守り人員を付けない）

※まだ始めたばかりであり、効果については今後検証予定。

2 実施の効果

白野江市民センター（門司区）

対象：小学生

開始時期：4月

実施内容：見守りボランティアを配置し、多目的ホールを開放

効果

- ・見守りボランティアを館報で募集し、地域活動に関わりのない人から応募あり。現在、ボランティアとして参加し、地域交流のきっかけになっている。
- ・各回2名のボランティアは組み合わせを毎回変更し、大人同士の交流の場にもなっている。
- ・子ども同士で遊ぶだけでなく、ボランティアの大人と一緒に遊ぶ子どもも多く、地域の大人と子どもの交流の場にもなっている。

牧山東市民センター（戸畑区）

対象：①小学生、②中高生

開始時期：4月

実施内容：①多目的ホールを開放、②会議室を学習室として開放

効果：今まで市民センターに来なかった子どもたちが来館するようになり、子どもの来館数が増え、にぎわうようになった。

「わいわい市民センター」実施館一覧（令和6年7月1日時点）

区	センター名	開始時期	内容	開催日程	対象	広報	見守り	保険	予算額
門司 (3館)	白野江	4月3日	多目的ホールを遊び場として開放	毎週水曜日 16時～17時	小学生	・館報で見守りボラ募集 ・3月中に学校へチラシ配布	毎回2名	加入済 (行事)	30,000
	西門司	7月	会議室を遊び場として開放	毎週水曜日 16時～17時	小学生	・館報で見守りボラ募集 ・学校、児童館等へチラシ配布	配置予定	加入 (行事)	30,000
	藤松	6月	会議室を学習室として開放 市民ホールを遊び場として開放	第1・3金曜日 15時～17時	小・中学生	・学校へチラシ配布（5月中）	配置予定	加入 (行事)	30,000
小倉北 (3館)	霧丘	5月中旬頃	多目的ホールを遊び場として開放	毎週水曜日 10時～12時	未就学児	・チラシ作成、近隣幼稚園へ配布 ・HP掲載	配置予定	なし	30,000
	南小倉	5月	市民ホールを遊び場として開放	毎日 放課後～17時	小学生	・館報に掲載（5月号）	なし	なし	30,000
	中島	7月	①和室 ②市民ホールを遊び場、学習の場として開放	①毎週金曜日 10時～17時 ②平日 10時～17時 土曜日 10時～16時半	①未就学児 ②小学生	・館報に掲載	なし	なし	30,000
小倉南 (2館)	長行	6月	①市民ホールを学習の場として開放（小学生～高校生） ②キッズスペースを開放（未就学児対象）会議室を自習室として開放、大学生が勉強を教える	・平日： 小学生16時～17時 中高生16時～20時 ・土曜日： 1時～16時 ・夏休み： 9時～11時30分	①小学生～高校生 ②未就学児	未定	なし	加入 (行事)	30,000
	長尾	5月	市民ホールを自由遊びの場として開放	センターの開館日・時間と同じ	未就学児～高校生	未定	なし	なし	30,000

「わいわい市民センター」実施館一覧（令和6年7月1日時点）

若松 (1館)	高須	5月頃	会議室を遊び場として開放	毎週水曜日 16時～17時	小・中学生	・チラシ作成、学校へ配布予定 (3月～4月予定)	配置予定	加入 (行事)	30,000
八幡東 (2館)	祝町	5月上旬	市民ホール、第2会議室を学習 室として開放	平日 9時～21時 毎週土曜日 9時～16時	中高生 (小学生)	・チラシ作成、近隣学校へ配布 ・インスタ、HPに掲載	なし	なし	30,000
	枝光北	6月12日	市民ホールを学習、自由遊び の場として開放（不定期イベ ントも開催）	毎週水曜日 15時～18時	小中高生	・館報、HP、インスタ、チラシ配 布（5月配布）	なし	なし	30,000
八幡西 (3館)	香月	5月	市民ホールを学習室として開 放	16時～20時 長期休暇： 10時～20時	中高生	・館報に掲載	なし	なし	0
	黒崎	6月	市民ホール内キッズスペース を遊び場として開放	開館日	未就学児 小学校低学 年	・館報に掲載	なし	なし	30,000
	星ヶ丘	5月 ※③は6月以 降	①市民ホールを自由遊びの場 として開放 ②室内公園ルームを開放 ③会議室を開放	①開館日、開館時間 ②開館日、～15時 ③第4木曜、 10時～12時	①小学生～ 高校生 ②未就学児 ③不登校の 子どもと保 護者	・館報に掲載、チラシ配布	なし ※③はあ り	なし	30,000

「わいわい市民センター」実施館一覧（令和6年7月1日時点）

戸畑 (7館)	中原	3月中	市民ホールを遊び場、学習の場として開放	開館日 小：15時～17時 中・高 ：16時～19時	小～高校生	・チラシ作成、掲示板掲示 ・館報掲載 ・来年度、学校へチラシ配布検討	なし	なし	30,000
	西戸畑	4月	①市民ホールを学習の場として開放 ②会議室、多目的ホールを将棋、ニュースポーツ体験として開放	①月～金 小：15時～17時半 中・高：～21時	小～高校生	・チラシ作成、学校へ配布 (3月中に1回、G.W明けに1回) ・館報掲載 ・戸畑駅掲示板	なし	なし	25,000
	牧山東	4月	①空き室を学習室として開放 ②講堂を遊び場として開放	①開館日の開館時間 ②夏休み期間 月～金 8時15分～9時30分、平日 空いている時間	①中高生 (多すぎたら高校生のみ) ②小学生	・チラシ作成、館報・掲示板掲示 ・様子を見ながら学校へ配布	なし ※②については必要	②についてのみ加入(行事)	20,000
	鞆ヶ谷	7月	会議室を学習室として開放	毎週金曜日 17時～19時	中学生(今後、高校生に拡大)	・チラシ作成、学校へ配布予定 (時期は学校と相談)	なし	なし	30,000
	沢見	①5月～6月 ②未就園児	市民ホールを遊び場として開放 会議室を学習室として開放	①開館日 9時～17時 (中高生～19時) ②第1・3金曜日	小～高校生	・チラシ作成、学校へ配布予定	なし	なし	30,000
	一枝	6月	①市民ホール ②会議室 を学習室として開放	①平日 ②月、木、金、土 15時30分～18時	小～高校生	・館報に掲載	なし	なし	30,000
	浅生	6月	空部屋を学習室として開放	小学生：～16時 中学生：～19時 高校生：～20時	小～高校生	・館報に掲載	なし	なし	30,000

「わいわい市民センター」実施要領（案）

この要領は、北九州市が実施する「わいわい市民センター」の取組について、必要な事項を定めるものです。

今後、取組にあたっての課題を整理の上、内容の見直しを行い、正式版は令和6年夏頃を目途に、改めて送付させていただく予定です。

1 対象となる子どもの範囲

「高校生までの子ども」を基本とします。

2 実施方法

「こどもの居場所づくりに関する指針」（令和5年12月22日 こども家庭庁通知）を踏まえ、各市民センターが主体となり、実施をご検討ください。

子ども家庭局は、実施する市民センターに対し、必要に応じて、「保険代・事務費」としての予算を配当します。また、その取組について、SNS等を活用した広報を行います。

3 実施基準

「こどもの居場所づくりに関する指針」に示される4つの視点を踏まえた取組とします。

（1）「ふやす」～多様な子どもの居場所がつけられる～

（主な視点）

- ・自分の居場所だと感じる場が失われないよう、持続可能な居場所づくりを進める

（2）「つなぐ」～子どもが居場所につながる～

（主な視点）

- ・情報発信等により、子どもがを見つけやすい居場所づくりを進める
- ・子どもの興味に即した居場所づくりにするなど、利用しやすい工夫を施す

（3）「みがく」～子どもにとって、より良い場所となる～

（主な視点）

- ・子どもの心身の安全が確保され、安心して過ごせる居場所づくりを進める
- ・どのように過ごし、誰と過ごすかを意識した居場所づくりを進める

（4）「ふりかえる」～子どもの居場所づくりを検証する～

（主な視点）

- ・子どもの居場所の多様性と創造性を担保しつつ、理念を踏まえた指標の検討が必要

4 実施例

- (1) 週に1回程度、小中学生を対象に、宿題や勉強、ゲームなど、自由に活動できる場所として、会議室や多目的ホールを開放。

見守り人員は、ボランティアを募集し、研修会を実施のうえ配置。

- (2) 中高生の勉強する場として、市民ホールに勉強机を設置。

お知らせチラシを作成し、近隣の学校等に配布するなど、情報発信を行う。

※対象とならない取組例

- ・七夕祭りや餅つき大会など、イベントの実施
- ・慣例的に、放課後の子どもたちが市民ホールを利用 等

5 予算配当の対象となる経費

新たに必要となる経費で、下記に該当するものとします。

- (1) 需用費

チラシ・ポスター等の印刷代、用具・文具代 等

- (2) 委託料

チラシ・ポスター等の作成委託 等

- (3) 報償費

見守りのための研修会講師謝礼、見守り人員への謝金 等

- (4) 役務費

切手代、保険代 等

【留意事項】

※予算配当の上限は、市民センター1館あたり3万円程度を想定しています。

※予算の制約上、希望する全ての市民センターに予算を配当できないことがあります。

6 その他

この要領に定めがないことは、子ども家庭局総務企画課と協議の上、決定します。